

にのへ市議会だより



「お米たくさんとれたよ！」みんなで稲刈りの体験
(二戸市立金田一保育園のみなさん)

45号

平成29年
11月15日

9月定例会 — CONTENTS —

定例会及び決算の概要・・・・・・・・・・	2	一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
決算特別委員会・・・・・・・・・・	4	臨時会の概要、活動報告・・	19
条例・補正予算など・・・・・・・・・・	7	議員との意見交換会・議会報告会	
審議結果、賛否の公表・・・・・・・・	11	開催のお知らせ・・・・・・・・	20

決算の概要

平成28年度の一般会計と各特別会計の歳入歳出を総括すると、歳入決算総額は、前年度に比べ3.86%減の231億7,538万6千円、歳出決算総額は同3.56%減の224億1,060万3千円となっています。

単純に歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は7億6,478万3千円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源8,250万8千円を差し引いた実質収支は6億8,227万5千円の黒字となっています。また、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は1億6,490万1千円の赤字となっており、実質単年度収支は1億1,934万1千円の黒字となっています。

9月定例会は、9月6日から9月27日までの22日間開かれました。
市長より提出された平成28年度決算認定9件と、条例案や補正予算案等の議案11件を審議し、全て原案のとおり認定、可決とされました。また、請願1件、陳情1件、議員提出の意見書案4件も審議され、請願1件が採択、意見書案3件が可決とされました。
一般質問では9人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について市の考えを質しました。

9月
定例会

平成28年度決算 9会計全てを認定

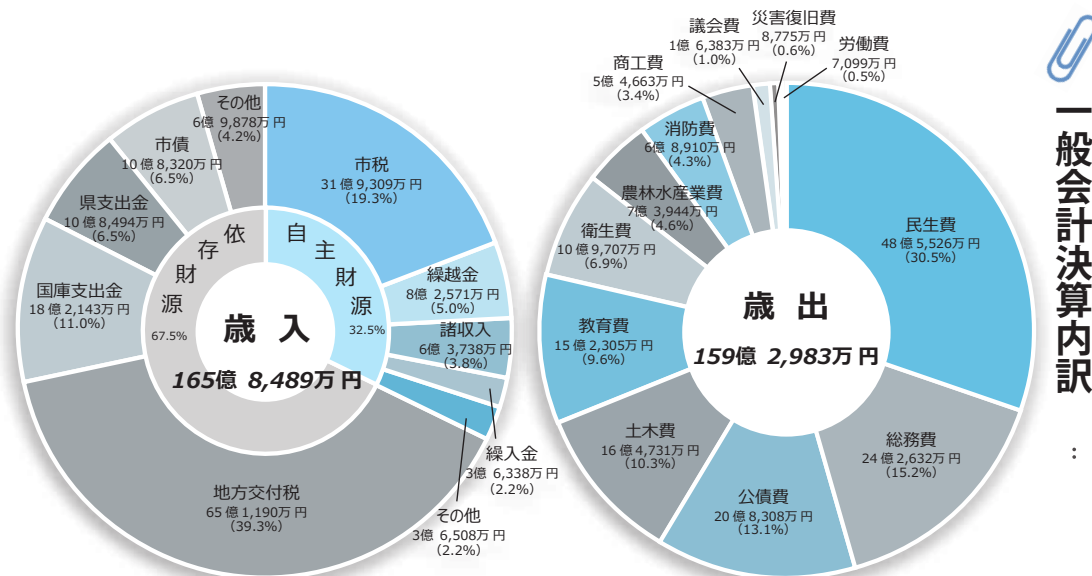
— 実質収支は1億1,934万円の黒字 —

会計別決算状況

区 分			歳 入	歳 出	差引額
一般会計			165 億 8,489 万円	159 億 2,983 万円	6 億 5,506 万円
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	40 億 5,961 万円	39 億 7,413 万円	8,548 万円
		診療施設勘定	2 億 3,987 万円	2 億 3,953 万円	34 万円
	下水道事業		8 億 3,757 万円	8 億 2,080 万円	1,677 万円
	生活排水処理事業		5,701 万円	5,694 万円	6 万円
	簡易水道事業		9,678 万円	9,560 万円	118 万円
	土地区画整理事業		10 億 1,346 万円	10 億 767 万円	579 万円
	介護サービス事業		154 万円	151 万円	3 万円
	後期高齢者医療		2 億 8,465 万円	2 億 8,458 万円	7 万円
計			231 億 7,538 万円	224 億 1,059 万円	7 億 6,479 万円

区 分		収 入	支 出	差引額
水道事業会計	収益的収支	7 億 3,939 万円	6 億 3,394 万円	1 億 545 万円
	資本的収支	9,964 万円	4 億 3,368 万円	△ 3 億 3,404 万円
		不足額 3 億 3,404 万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税資本的収支調整額および減債積立金で補っています。		

※端数処理のため計が一致しない部分があります。



※自主財源…市で集めたお金、依存財源…国・県や市債に頼ったお金

一般会計の主な使い道

民生費（高齢者、児童など 福祉にかかるもの）

48 億 5,526 万円

- ・放課後児童対策事業
6,810万円
- ・子ども子育て支援事業
3,715万円



総務費（情報管理、市バス運行、ま ちづくり、職員人件費など）

24 億 2,632 万円

- ・自治体情報セキュリティ強化対
策業務委託料 8,138万円
- ・まちなか賑わい創出事業
2,309万円



土木費（道路や河川の整備・ 維持にかかるもの）

16 億 4,731 万円

- ・道路新設改良舗装事業
2億8,120万円
- ・荒瀬上田面線街路整備事業（岩
谷橋工区） 2,966万円



教育費（小中学校、学校給食、社会 教育事業などにかかるもの）

15 億 2,305 万円

- ・いわて国体開催事業
4,419万円
- ・九戸城エントランス広場整備事業
3,819万円



衛生費（予防接種、ごみ処理 などにかかるもの）

10 億 9,707 万円

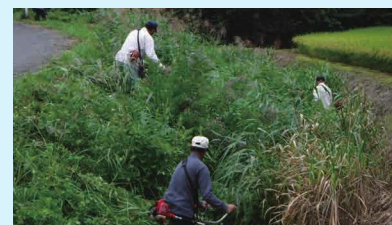
- ・インフルエンザ予防接種事業
2,169万円
- ・ロコモティブシンドローム予防
事業 1,144万円



農林水産業費（農地整備、農家支援 などにかかるもの）

7 億 3,944 万円

- ・農業農村直接支払事業
1億4,551万円
- ・新規就農者育成対策支援事業
3,091万円



消防費（消防活動、消防施設 整備などにかかるもの）

6 億 8,910 万円

- ・防災士養成研修事業
305万円
- ・自主防災組織活動補助金
210万円



商工費（観光イベント、漆振興、 企業誘致などにかかるもの）

5 億 4,663 万円

- ・ふるさと企業経営基盤整備事業
費補助金 2,000万円
- ・漆掻き職人育成事業
938万円



159億2983万円

一般会計歳出額





決算特別委員会

委員会での主な質疑

● 決算全体

● まちづくりの方向性

問 次に進むにあたりどのような考えを持っているか。

答 今まで民間企業が培ってきたプロイラーや日本酒、生花、漆、果樹など、それらをどうすれば売れる商品にできるか、お金を稼げるのか、その仕組みづくりが大切。若い方々が元気に先輩方の智慧を借りながら新しい挑戦をし、一緒にまちづくりを進めていくことが必要と思っている。



若手生産者や経営者らが参加した「にのへブランド推進カフェ」

● 収入未済額の扱い

問 払えない事情がある方について、解決に向けた取り組みをしているのか。相談対応できる職員を配置するべきでは。

答 税務課に相談があった方は、税以外の債務も持ちの場合もあるため、内容をお聞きしながら必要に応じて暮らしの相談窓口や消費生活センター等を紹介し、担当窓口へ連絡等を行っている。人的対応については部課内でも検討したい。

● 28年度一般会計決算にのへブランド戦略展開調査業務委託

問 調査によりどんな結果が出て、それをどう活かしているのか。

答 九戸城跡については「首都圏の20代から35歳までの歴史好きな男性は関心が高いが、城跡などのハード面が好きな旅行者に対するインパクトが課題」、金田一温泉については「男性は座敷わらしに関心が集中し、女性は虫や観光リングゴ園など総合的なコンテンツを評価している」、天台寺については「寂聴さんに対する認識は高いがそれ以外では低い」などの結果が出て

いる。感覚的な部分が数値として表れたことは非常に貴重。これをもとに議論をしながらまち再生事業に展開させたい。

● 市民文化会館の入館者数

問 平成28年度の入館者数は5万6024人と、前年度と比べ1万人以上も減っているが、理由は。

答 数字では急激に減少したように見えるが、27年度は特別に各種事業が多かったために突出した数字になっている。平年に比べるとそれほど大きな差ではない。



市民文化会館

● 県境産廃南側牧野監視用地下水等分析検査委託料

問 南側牧野問題の受け止めと今後の考えは。

答 地下水をモニタリングした結果、環境基準を超える数値は出ていない。基準を超えることがなければ改めて行政として調査に入ることはできないが、市としても当然モニタリングを継続しており、県が行っているジオキサン対策と併せ監視を続けている。地域の方が安心できるよう県にも引き続き対策をお願いするなど、最後まで見守っていく。

● 学校図書館

問 浄法寺小学校の蔵書数は文科省が示す標準冊数を満たしていないが、解消に向けた対応は。

答 浄法寺小学校を平成22年に新築した際、図書を半分ほど廃棄した。それまでは標準に対し90%を超える率の蔵書数があったが、48%まで落ち込んだ。それから徐々に予算の配分を多くするようになり、現在95%程度の達成率となっている。

議会選出監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会では、委員長に駒木昇議員が、副委員長に田口一男議員が選出されました。

委員会と所管の分科会において平成 28 年度の各会計歳入歳出決算を審議した結果、一般会計と 7 特別会計、水道事業会計の計 9 会計全ての決算を認定すべきものと決しました。

総務分科会

● 28 年度一般会計決算 移住・定住推進費

問 空き家バンクの取り組みは。

答 空き家の調査も進んできている。空き家条例について検討しており、空き家バンクの制度を取り入れた。危険な空き家、特定空き家の対策について、所有者が見つからないような建物は取り壊しをどのようにするのかということも含め条例化に向けて検討を進めている。

市バス運行業務委託

問 今後の方向性は。

答 循環バスについては、試験運行から本格運行に切り替わり、乗車数も目標より多くなっているので引き続き運行していきたい。スクールバス混乗化の試行では、時間帯が早すぎて利用者が無かったことから、難しさがあると検証をしている。現状に沿って、利用しやすいバス運行に努めている。

公民連携まち再生事業費

問 歴史文化交流施設の今後の方向性は。

答 文化財の体験エリア、歴史民俗資料館、収蔵庫などを含めた漆の文化を見せたい方法を考えていく。本当に活かしたものにするために再構築という考え方で、話し合いを進めていく。3 年間で目処として計画を作り上げる。

普通税の徴収率

問 今後の目標は。

答 県内 14 市中の最下位を抜出すことを目標としている。分割納付については相談に応じて、納付計画により一定期間内に納めていただくよう努めている。個別のケースに適正な対応を進める。



文教福祉分科会

● 28 年度一般会計決算 学校給食費

問 アレルギーマチの動向はどうか。

答 自分で除去できるため給食センターでの特別な対応を不要としているお子さんも含めての人数で、平成 28 年度は 72 人、平成 29 年度は 80 人となっている。このように、徐々にではあるが、食物アレルギーを持つお子さんが増えている。

楓陰舎きぼう塾

問 今後のあり方を考えてみる必要があるのでは。

答 6 年が経過し、その間土曜チャレンジ塾も始まったことから、事業の内容・進め方については検討する必要があると考えている。

生きいき交流センター

問 児童クラブがなくなると純粋に堀野地区の公民館になるが、今後、管理運営をどうするかを検討は。

答 今後移転となった場合の交流センターの利用方法やあり方等については、これから検討を進めていきたい。



生きいき交流センター

診療所の医師の確保

問 対応はどうしているのか。

答 金田一診療所については、今盛んに探して交渉をしたりしているところである。浄法寺診療所についても、今現在には特に探していることはないが、今後に備えて考慮に入れている。



決算特別委員会 のつづき

産業建設 分科会

● 28年度一般会計決算

漆原木確保対策事業費

問 原木確保の将来展望は。

答 今年度、原木管理システム・原木調査のほかに、来年度に向けて様々な支援策を検討し、安定的に供給できる体制を作っていく。長期的な視点でこの産業を見ていかなければならない。

二戸まつり・浄法寺まつり

問 年々参加人数も減り、現状のままでは行き詰るのでは。

答 二戸まつり・浄法寺まつりは市を代表する観光的な位置づけで、各実行委員会を作り支援している。人員の確保については、各関係団体や教育委員会と意見交換・相談をしながら、来年度に向けて検討していきたい。

橋梁補修

問 平成28年度までの補修予定の工事完了と、市民からの橋についての要望は。

答 金田一の府金橋は終わり、28年度で上之橋と下豊年橋を施工し、今年度終了した。今後は中規模クラスの使用の橋を補修していくので、箇所は増え今年までで4橋行つ。市民からの要望は特にならない。



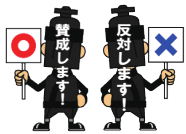
補修工事が完了した府金橋

住宅使用料の未済額

問 市営住宅の滞納状況は。

答 滞納者で現在も入居されている方は10人ほど。退去した方の中には保証人が分納しているケースや、亡くなられた方は家族が納付している状況もある。今年度は3人が完納、未納者は現段階で34人である。

討論 (決算認定分)



平成28年度二戸市一般会計歳入歳出決算

賛成

内沢 真申 議員

単年度収支はここ数年黒字で、財政状況指数も改善傾向。効率的な事業執行やスリムな行政運営に努めた結果と思う。全体を通して適正に予算が執行されたことを評価し、みんなの夢、30年後の未来像に向かって今後さらに前進することを望み賛成する。

平成28年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

反対

田口 一男 議員

不納欠損額分を国保加入者の割合に応じて一般会計から繰り入れることで、税の均衡ある対応ができると思う。保険料の引き下げは喫緊の課題。国庫負担を大幅に増やし、誰もが安心して支払える保険税に改めるよう国に要望し反対する。

平成28年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算

反対

畠中 泰子 議員

合併特例の交付税措置も逡巡している中で、二戸市の財政にとっても事業費の確保は大変な問題。財源的・財政的支援を国や県に求めると同時に事業費抑制、早期完成に向け、見直しできる部分の追求や努力がまだまだ不十分であったと考え反対する。

決算認定以外の主な議案は次のとおりです

条例

二戸市工業等導入促進対策審議会条例を廃止する条例

可決

農村地域への工業の導入促進において、二戸市工業等導入促進対策審議会は所期の目的を達したことから、条例を廃止しようとするものです。

補正予算

平成 29 年度二戸市一般会計補正予算（第3号）

可決

補正額 7億1,993万円

【主な内容（歳出）】

▽いわてカシオペアブランド発掘・発信事業

558万円

管内4市町村で行う観光資源や特産品の発掘・発信

▽漆振興費

746万円

ふるさと文化財の森などの土地購入にかかる経費など

▽道路維持管理補修事業費

1億1,139万円

除雪に要する委託料など

▽市民協働除排雪支援事業費

677万円

町内会等への貸出用の小型除雪機械購入費など

▽学校管理費

1,279万円

小中学校保健室へのエアコン設置にかかる経費

▽要保護・準要保護児童生徒援助費

223万円

児童・生徒の学用品を入学前に支給するための経費

▽体育施設管理運営事業

2億1,399万円

総合スポーツセンターの土地購入等にかかる経費

▽電算委託料（学校給食費）

191万円

学校給食費の口座振替等管理システムを導入

請願・陳情

【請願】日本政府がすみやかな核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

採択

【請願者】岩手県原爆被害者団体協議会・ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会

【要旨】日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署

名し、衆参両院ですみやかに核兵器禁止条約を批准することを強く求めるものです。

【陳情】「共謀罪」（テロ等組織犯罪準備罪）を新設した改正組織犯罪処罰法の廃止を求める意見書を国に提出することを要望する陳情

不採択

【陳情者】新日本婦人の会二戸支部

【要旨】政府に対し、国民の基本的人権を侵す「共謀罪」（テロ等組織犯罪準備罪）を新設した改正組織犯罪処罰法の廃止を求める意見書を国に提出するよう求めるものです。

議員発議

可決された意見書3件は、関係行政機関へ提出しました。

【第1号】教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

可決

政府に対し、教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度の拡充を求めるものです。

【第2号】岩手県の医療費助成制度について更なる拡充を求める意見書

可決

県に対し、医療費助成制度の給付方法の現物給付化と中学卒業までの子どもの医療費自己負担無償化の早期実現を求めるものです。

【第3号】北朝鮮の核・ミサイル問題を平和的に解決するための外交努力を求める意見書

否決

政府に対し、米朝の直接対話を実現し、核・ミサイル問題を平和的に解決するための外交努力を図るよう強く求めるものです。

【第4号】日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書

可決

請願が採択されたことにより提出するものです。

本会議での主な質疑

● 一般会計補正予算
(第3号)

生活困窮者自立支援事業(住宅確保給付金分)
問 制度の詳細とこれまでの実績は。

答 離職等により住宅を失った生活困窮者に対し家賃相当分を支給するもの。平成27年度から施行された生活困窮者自立支援法に基づき実施されている事業であるが、当市では27年度、28年度ともに実績はない。



制度を紹介するリーフレット

漆振興費公有財産購入費

問 目的と内容は。

答 漆原木確保のため県有地を購入するもの。場所は浄法寺町明神沢の2カ所で、1

カ所目は地目が原野面積は2万5042平方メートル、購入予定単価は1平方メートルあたり57円。2カ所目は地目が山林で、面積は4万1699平方メートル、購入予定単価は1平方メートルあたり51円。

市民協働除排雪支援事業費

問 これまでの除排雪支援先は。

答 町内会等への小型除雪機の貸し出し等を行うものであるが、平成26年度は8地区、11台。27年度は5地区、5台。28年度も5地区、5台。3年間で延べ21台の実績となる。

小中学校保健室へのエアコン設置

問 市内小中学校の暑さ対策について、今後の方向性は。

答 県内の市町村を見ても普通教室まではエ

アコン設置に至っていない状況にあり、今後エアコンを入れていくのかについては今のところ考えていない。現在は各教室にも扇風機を必要数配置しており、学校でも、水筒持参や運動着登校の実施など、子供たちの水分補給について気を配っている。今後も学校管理下のもと、そのような対策・対応を行っていききたい。

体育施設管理費

問 今回購入する土地の場所等内容は。

答 場所はスポーツセンターが建っている部分の底地と駐車場の部分である。今回は、スポーツセンターの敷地の売却を希望する方について、全てを購入するもの。残りの方は売却を希望していないため、現在のところ購入の計画はない。今後時

期を見てまた伺いを立てていく。



総合スポーツセンター

学校給食実施事務費

問 口座振替導入後も未納者への納付依頼書を学校を介して配付する理由は。

答 これまでの流れもあり、未納者に学校とのつながりを意識つけることにもなるため、学校経由としたものの配付する際は当然、中身が分からないように学校で配慮して手渡すことになる。

総務常任委員会

● 一般会計補正予算
(第3号)

いわてカシオペアブランド発掘・発信事業

問 具体的事業内容は。

答 カシオペア活性化フォーラムでの、地域に良いものがあるが認知度が低いというようなものを発信するような事業が出来ないかという提言を受けて、大きく2つの内容を予定している。一つは今まで光が当たらなかったような地域の中に眠っている資源を見つけ、磨き上げて発信していくということを考えている。もう一つは地域の魅力発信事業であり、発掘してきた地域資源を首都圏も視野に入れ、各種メディア、ウェブサイト、SNSなどの様々な方法によって発信していくという事業である。

ごみ集積所集約整備事業補助金

問 本年度の設置予定件数は。

答 当初予算では100世帯分の集約化を見込み150万円を計上した。現在7地区114世帯分の集約、148万円程の実績となっている。あと3団体から申し出があり、ぜひ今年度中ということなので、その3団体を今回補正するものである。



設置が進むごみ集積所

文教福祉 常任委員会

● 一般会計補正予算
(第3号)

小中学校保健室へのエ

アコン設置

問 設置校は。

答 小学校は中央小学校、石切所小学校、御返地小学校、金田一小学校。中学校は御返地中学校、金田一中学校、浄法寺中学校である。

学校給食実施事務費

問 納付方法は。

答 原則口座振替を保護者にお願ひし、口座引き落としができなかった方は、納付書を使って、金融機関やコンビニで納付していただく方法としたい。基本は口座振替だが、納付書でしか支払えない方は納付書で、ということとができる。

児童クラブの保育料

問 納付方法の拡大は。

答 郵便局、コンビニ納付、口座振替の納付方法が拡大になるための準備となるもの。

● 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

浄法寺診療所

問 地区の開業医が辞めたことによる影響はどうか。

答 4月から患者数が約2割増えた状況であったが、先生が予約患者をある程度調整して、若干落ち着いてきている。



浄法寺診療所

産業建設 常任委員会

● 工場等設置奨励条例を一部改正する条例

問 農村地域工業等導入促進法の改正内容は。

答 これまで工業の5業種に限られていたのが業種限定がなくなつた。また、企業の設備投資に対する固定資産税の課税を免除する規定が整理された。

● 一般会計補正予算(第3号)

漆振興費

問 今回購入しない部分について、今後の方向性は。

答 残りの土地は購入したいと考えているが、県の林業技術センターからは試験地であるため購入は待つてほしいと言われている。今後は共同研究をしていきたい。

農業担い手育成指導員

問 二戸の農業担い手育成の今後について

のようになっているか。

答 新規の担い手は平成28年度から5年間で15人が目標。将来確実に中心経営体として集落を率先していく人材になつていただきたいと考えている。

市民協働除排雪支援事業費

問 今回購入する5台を入れた小型除雪機の台数と、貸出方法は。

答 今回の購入で27台になる。シーズンはじめに貸し出し、3月に回収して市で保管し、また貸し出すときにメンテナンスをした上で各地域に貸し出す形をとっている。



地域の除雪活動を支援

会議録を公開しています

会議録は、定例会・臨時会での本会議のすべての内容を記録・製本して、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館および浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。

また、平成18年以降に開催した定例会・臨時会の会議録は、市議会ホームページより閲覧・検索することができます。

一般質問をラジオで放送しています

定例会の一般質問は、カシオペアFM(周波数77.9MHz)で録音放送をしています。

放送日程は、二戸市議会またはカシオペアFMのホームページでご確認いただくかお問い合わせください。

【問い合わせ先】

二戸市議会事務局(TEL: 0195-23-3111)

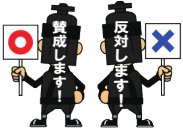
カシオペアFM(TEL: 0195-43-3461)



市議会の詳しい情報は、二戸市議会のホームページでご覧いただけます。
市議会のページへは、二戸市ホームページ(<http://www.city.ninohe.lg.jp/>)よりアクセスください。

右のQRコードからもアクセスできます→





討 論 (決算認定以外)

議案第5号 平成29年度二戸市一般会計補正予算(第3号)

賛成

畠中 泰子 議員

市内小中学校7校の保健室へのエアコン設置、学校給食費の口座振込のためのシステム導入など、市民や学校現場にとって待たれている予算化がされていることから賛成する。

請願第1号 日本政府がすみやかな核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

反対

米田 誠 議員

条約は北朝鮮の重大な脅威に対する解決策を提起できず、その実効性が疑問視されている。条約を批准する前に核保有国と非保有国との対立を回避し、地道な平和外交を続けることが日本に求められていると考え反対する。

賛成

畠中 泰子 議員

核廃絶を掲げる市の議会として採択すべき。政府は唯一の被爆国としてリーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡しを努めると明言した通り、行動を早急に示すことが求められていると考え賛成する。

発議第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

反対

米田 誠 議員

教職員定数は市内ではほぼ達成されており、長時間労働の改善は別に取り組むべき。国庫負担は教員の給与、手当の費用であり、義務教育全般にわたるものではなく、現状では2分の1に復元することはないと考え反対する。

賛成

鈴木 忠幸 議員

北朝鮮に対抗するために保有しなければならないという立場に立つ限り、核廃絶は遠のくばかり。政府は先頭に立って早々に批准し、世界に一日でも早い核兵器の廃絶を訴えていくことが正しいと考え反対する。

賛成

及川 正信 議員

核保有国の広がり地球の破滅に繋がる。米国の核の傘の下にいないべきではないという考えをそろそろ見直すべき。非核平和宣言都市に住む者として世界から核兵器を全廃するためにも、この条約に日本は賛成すべきと考える。

賛成

岩崎 敬郎 議員

定数は満たしているが、講師で埋め合わせをしている実態は好ましくない。学校設備や備品等は自治体の負担になっており、教育の機会均等を図るためにも教育全般における予算確保を進めてもらいたいという観点から賛成する。

反対

米田 誠 議員

この法整備は国際協力を飛躍的に強化させるTOC条約締結に不可欠。また国民の不安を払拭するのに十分な処罰範囲の限定と明確化が図られている。組織犯罪から国民を守るために法整備を行うことは国家として当然の責務と考える。

賛成

畠中 泰子 議員

この法の成立過程には疑義の声が上がっている。対象とされる組織犯罪集団の定義も曖昧。市民の内心の自由を守り、日本の民主主義を守る立場からも、この法律の危険性を再検討して一刻も早く廃止するべきと考え賛成する。

賛成

畠中 泰子 議員

ゆきとどいた教育や人間らしい働き方の保障という観点からも、定数改善や長時間労働の是正が必要。また、政府が地方の実情を十分認識して教育行政が進められるよう予算の絶対確保を求める立場から賛成する。

賛成

鈴木 忠幸 議員

犯罪を犯していないにもかかわらず思想や信条、良心や言論の自由など基本的人権を侵害するような捜査が捜査機関の判断で行われ、誤った逮捕の可能性など恐ろしい内容を持つ。当然採択すべきものと考え賛成する。

賛成

及川 正信 議員

共謀罪は独善的に着々と進められてきた。計画段階で逮捕する権限が与えられるため、一般人にも捜査が及ぶ可能性があり、治安維持法のように法律の骨が抜けることになる。人権を尊重するため民主的な法律でいくべきと強く考える。

発議第3号 北朝鮮の核・ミサイル問題を平和的に解決するための外交努力を求める意見書

反対

米田 誠 議員

現時点で北朝鮮と対話を行うことは北朝鮮の核保有を認めることになる。国際社会が一致して、核ミサイル開発を続ける北朝鮮が政策を転換するまで圧力を高めるべきであると考え、本意見書に反対する。

賛成

田口 一男 議員

安倍首相の強硬姿勢は軍事力の行使も容認することであり危険。憲法9条を持つ日本こそ対話による平和解決のイニシアチブを発揮すべき。米朝の直接対話による解決を米朝両国に求めていくべきと考え、賛成する。

賛成

及川 正信 議員

平和外交、話し合い外交を基本にきちんと持ち、制裁決議が守られるよう各国が協力し合うことが必要。北朝鮮を追い詰めるような外交ではなく、平和外交を根気よく、忍耐強く行い、平和的解決を希求していくべき。

審議結果

議案番号等	議案名等	審議結果
議案	1 二戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	2 二戸市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	3 二戸市工業等導入促進対策審議会条例を廃止する条例	可決（全員賛成）
	4 平成 28 年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決（全員賛成）
	5 平成 29 年度二戸市一般会計補正予算（第 3 号）	可決（全員賛成）
	6 平成 29 年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員賛成）
	7 平成 29 年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員賛成）
	8 平成 29 年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員賛成）
	9 平成 29 年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員賛成）
	10 平成 29 年度二戸市介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員賛成）
	11 平成 29 年度二戸市水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決（全員賛成）
認定	1 平成 28 年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	2 平成 28 年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	3 平成 28 年度二戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	4 平成 28 年度二戸市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	5 平成 28 年度二戸市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	6 平成 28 年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	7 平成 28 年度二戸市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	8 平成 28 年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	9 平成 28 年度二戸市水道事業会計決算の認定について	認定（全員賛成）
報告	1 平成 28 年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について	報 告
	2 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について	報 告
	3 専決処分の報告について 公用車両の事故に伴う損害賠償	報 告
請願	1 日本政府がすみやかな核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	採択（賛成多数）
陳情	1 「共謀罪」（テロ等組織犯罪準備罪）を新設した改正組織犯罪処罰法の廃止を求める意見書を国に提出することを要望する陳情	不採択（賛成少数）
発議	1 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決（賛成多数）
	2 岩手県の医療費助成制度について更なる拡充を求める意見書	可決（全員賛成）
	3 北朝鮮の核・ミサイル問題を平和的に解決するための外交努力を求める意見書	否決（賛成少数）
	4 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書	可決（賛成多数）

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	駒木 昇	清水 正敏	内沢 真申	米田 誠	三浦 利章	田口 一男	菅原 恒雄	田村 隆博	國分 敏彦	小笠原清晃	新畑 鉄男	畠中 泰子	田中 勝二	田代 博之	岩崎 敬郎	田口 一	及川 正信	鈴木 忠幸
認定第 2 号 平成 28 年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第 6 号 平成 28 年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第 8 号 平成 28 年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
請願第 1 号 日本政府がすみやかな核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第 1 号 「共謀罪」（テロ等組織犯罪準備罪）を新設した改正組織犯罪処罰法の廃止を求める意見書を国に提出することを要望する陳情	×	×	×	×	×	○	議	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○
発議第 1 号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 3 号 北朝鮮の核・ミサイル問題を平和的に解決するための外交努力を求める意見書	○	×	×	×	×	○	議	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
発議第 4 号 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対

市政を問う！

9人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。

本定例会では9人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

小笠原 清晃 議員 P 12

1. 市長選立候補の決意決断について

國分 敏彦 議員 P 13

1. 金田一診療所について
2. うるしの苗木について
3. 教育環境について
4. 児童生徒の学力について

田口 一 議員 P 14

1. にのへ祭りについて
2. 新県宮野球場建設について
3. 統合後の御返地中学校跡地について

新畑 鉄男 議員 P 14

1. 農業の今後について
2. 歴史文化交流施設について
3. 友好都市について
4. 市長選について

駒木 昇 議員 P 15

1. 新公会計制度にかかる進捗について

米田 誠 議員 P 16

1. 公共交通について
2. 自殺対策について
3. 食品ロス削減について

田口 一男 議員 P 16

1. 県道主要地方道二戸五日市線の国道昇格について
2. 除雪作業による破損被害と融雪剤の影響について
3. 稲作の日照対策と減反交付金廃止について

畠中 泰子 議員 P 17

1. 歴史的な核兵器禁止条約採択で世界が大きく変わりつつある中での非核平和宣言都市の役割
2. 介護保険と子どもの医療費助成について
3. 農業後継者育成・支援のための親元就農促進事業の創設について
4. 狭い・古い石切所小学校体育館について

及川 正信 議員 P 18

1. 市長の4年間の市政取組みと、二戸市の政策課題について
2. 非核平和宣言都市として取組むべき課題について
3. 御所野遺跡の世界文化遺産推せん見送りについて



小笠原清晃 議員

問

市長選挙について、再度立候補するのか、決意・決断のほどを明らかにしていただきたい。

市長選挙に再度立候補するのか決断は

立候補することを表明する

答

市長 皆様から寄せられた信頼と期待に

もつたことから、安心で元氣なふるさと二戸の実現に向けて、全身全霊を注いでいく決意をしたので、来年1月の二戸市長選挙に立

ちてくるべく、無我夢中で走ってきた4年間だったと感じている。平成27年

民の皆様と一緒に考えながら策定した第2次二戸市総合計画がスタートし、いって国体を始め、漆産業の振興、子育て支援の充実、市

は大きな課題であり、地域を担う人づくりと地域で経済を循環させながら稼ごまちづくりの仕組みが大切であると思っている。これまで引き継いできた伝統に新たな発想を加えながら、安心で元氣なまち二戸の実現に向けて、誠心誠意取り組んでいきたい。

答

市長 市長選挙への対応については9月議会でもうすでに意向を固めたいとの答弁を申し上げていた。市民の皆様と一緒につくり上げた第2次二戸市総合計画に盛り込んだ施策も、アクションプランに基づいてスタートしているところであり、気持ちの整理

候補することを表明する。謙虚な気持ちと感謝の気持ちを忘れることなく、市民の皆様と一緒に頑張っていく決意である。

問

1期目の感想はどのようなものか。また2期目は将来に向けてどのような考え方で臨むのか。

度までの2年間は、第1次総合計画後期基本計画の仕上げとして、二戸消防署及び浄法寺分署の移転、浄法寺バイパスの開通、福岡中学校の改築など、基盤整備や安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んだ。平成28年度からは、30年後を見据えたまちづくりを市

内3カ所を進めている再生事業など、市民や企業の皆様と共創によるまちづくりが動き始めたと感じている。2期目にあたって、第2次総合計画は参加していたいた方々の思いが盛り込まれており、この計画を推進していくことが大切であると考えている。人口減少



地方創生の連携に関する協定締結式



國分 敏彦 議員

問

過去3年間の漆苗木植栽数と漆を掻いた本数は。また、今後の植栽計画は。

答

市長 二戸地方森林組合及び浄安森林組合が3年間に市内の方へあつせんした苗木本数は、約6千本となっている。これ以外にも個人的に苗木を確保、あるいは生産し植栽された方もいると思うが、苗木造林補助制度の活用を案内しながら把握に努めている現状である。漆を掻いた

今後の漆植栽計画は サイクル構築に対応できる計画を策定

本数は、生産組合の実働状況等から類推し、3年間で約1万9千本と推計している。

年間生産は2トを目標とし、必要な原木は年間1万2千本を見込んでいる。新たな苗木生産体制を確立した場合にも出荷までには最低2年は必要となることから、当面は植栽と同じ効果を得られる伐採後の萌芽管理の徹底に重点を置き、サイクル構築に対応できる植栽計画を策定していきたい。



植栽後1年目の漆の若木

問

入学に伴う教育環境就学前教育と学校教育の連携について、情報共有の現状と課題は。

答

教育長 幼保小連携推進会議を年2回開

児童生徒の学力

問

児童生徒の学力の現状と課題は。

答

教育長 全国学力・学習状況調査のB問題において、小中学校ともに全国平均を上回ったということは、考える力を育てる授業が市内の小中学校において広く展開されている結果と捉えている。今後も教育委員会と学校がともに手を携えながら、授業改善による学力向上を推進するよう努める。一方で、テレビを2時間以上見ている割合が全国に比べて高く、家庭で2時間以上勉強している割合が全国に比べて低いという課題がある。学校と家庭とが連携しながら家庭学習の習慣化を一層進めていく必要があると考える。



田口 一 議員

二戸まつり出演者・観客を増やす対策は 個人の演技を見せる場・歴史的価値をPR

問 二戸まつり観客の入
り込み数、出演者数
は、今後はどのようにして
増やすのか。

答 市長 平成22年に約
4万人であった入
り込み客数は、本年は約
3万3千人という状況であ
った。参加者、出演者数は
4日間で6700人と捉え
ている。一方で、平成17年
に始まった前後祭は、9台
の山車組による百人太鼓や
花火大会、カシオペアフー
ドフェスティバルも加わり、

市外からの観客も増えている。
出演者を増やすためには、
町内会だけでなく、地域の
企業や幼稚園、団体など参
加を広く呼びかけていくこ
とや、流し踊り、ナニヤト
ヤラも今年から飛び込みで
も参加できるなど、個人の
パフォーマンスを見せる場
としても広くPRしていき
たいと考えている。
三社大祭は歴史的にも古
く、香香稻荷神社の六角み
こしは1763年に南部
公から寄進されたもので、

450年の歴史がある。観
客を増やすためには、歴史
的価値を広くPRし、マス
コミへの情報提供を広く厚
く行っていく必要があると
考えている。一戸には、漆
リンゴのはるか、サクラン
ボの夏恋、短角牛などの良
いものがあり、二戸あるい
は稲庭などの自然とも結び
つくようなPRの方法も今
後考えていかなければなら
ないと思っている。



にのへの秋を彩る二戸まつり

統合後の御返地中 学校の活用は

問 御返地中学校統合後
の校舎、体育館、プ
ール、校庭等の活用方法は、

答 市長 校舎が築45年、
体育館が築43年経過
するなど、老朽化が進んで
いる状況である。御返地出
張所が入った地域の集会施
設もあることから、活用方
法を検討するにあたっては
御返地地区の公共施設のあ
り方等も踏まえて、慎重に
検討していく。

答 教育長 現在生徒24
人が在籍しており、
生徒の学習環境を優先する
ことを考慮し、また検討に
は至っていない。市長部局
とも連携を図りながら、検
討・対応したい。



新畑 鉄男 議員

農業に意欲を持てる施策は 新たな発想や取り組みを進めていく

問 高齢化が進み、耕作
放棄地が増える今日、
農業に意欲を持てるような
施策の考えは。

ない地域企業の商品力強化
や販売戦略にもつながり、
地域経済の維持、発展にも
寄与するものと考えている。

営方法など協議を重ねてい
く。このことから、平成31
年度に工事着手するとして
いた実施計画からは遅れる
ものと想定している。

友好都市締結の考えは

問 二戸市にはさまざまな
な都市と課題を共有
するものがたくさんあると

進めているので、現時点で
は友好都市締結は考えてい
ない。
市長選にあたって

問 市長選立候補にあた
り今後のまちづくり
の考えは。

答 市長 次の世代を担
う若い人材づくりが

答

市長 二戸の特徴を生かしながら、新たな発想や取り組みを進める地域の担い手を支援し、収益が高く、地域農業をけん引できる農業経営体の育成と農業農村の維持・継承に努めていく。このことは、農業生産者のみならず、国際的な経済動向に左右され

**歴史文化交流施設
のスケジュールは**

問

歴史文化交流施設の完成と構想は。

答

市長 この施設が地域全体に波及効果を広げられるよう、地域の皆さん、若い皆さんと協議の場を設け、施設の内容や運



建設予定地の旧岡本小学校

思っが、友好都市を結ぶ考えは。

答

市長 友好都市は将来にわたってつながりを継続していくこととなるため、目的をはっきりさせた上で一方的ではない友好関係を結ぶことが重要。他市町村とはいろいろな情報発信を行いながら交流を

これからの二戸市にとって必要。農業、産業、地域観光など、どの分野でも積極的に活動する人材がいることで地域の活力が生まれ地域コミュニティの再生にもつながる。漆を始め、地域の資源を活かしながら稼ぐまちづくりを目指していくことが大切であると思う。



駒木 昇 議員

問

統一的基準の概略と変わる部分についてそのメリットは。

答

市長 この制度は地方公共団体に企業会計の考え方を導入し、会計情報を今までよりも充実させ、新たに得られる会計情報を行政運営に活用して効果的に進めていくこととする取り組みである。平成27年1月の総務大臣通知により、統一的な基準による財務書類等を原則として、平成27年度から平成29年度までの

新公会計制度にかかる進捗状況は

国の期限までの作成・準備を進めている

3年間で全ての地方公共団体において作成することになったもの。

変わる部分は、1つは固定資産台帳の整備、2つ目は複式簿記の導入、3つ目は原則として平成28年度決算財務書類から適用するものである。

メリットは、この統一的な基準による財務書類等を作成することにより、住民や議会、外部に対する財務情報の分かりやすい開示が図られるほか、現金主義会

計を補完することで、資産・負債の一覧の把握や行政コストの把握、公共施設マネジメント等への活用も見込まれることである。

問

国のマニュアル通り検討状況は進んでいるのか。

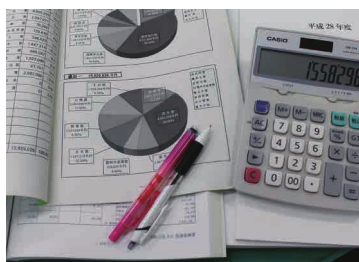
答

市長 国では平成29年度までの作成を要請しているが、市としても期限までの作成を目指し、準備を進めている。平成28年度は職員の制度への熟度

問

国の支援策として導入にかかる費用は。

を深めるとともに、固定資産台帳整備のため、資産資料の作成を進めてきた。平成29年度は当初予算に地方公会計システム導入委託料、保守管理委託料を計上し、8月末にシステム導入等委託が完了、固定資産台帳の整備も進めており、今後期末一括仕分けにより財務書類等の作成を進め、公表する予定である。



導入に向けた準備が進められている

答

市長 平成28年度から普通交付税による地方公会計システムの整備運用にかかる費用相当分について支援措置があるほか、特別交付税による職員研修に要する経費などへの支援がなされている。



米田 誠 議員

問 自殺の実態と分析について伺う。また、市民への生きる支援を進める計画策定が必要と考えるが今後の方針は。

答 市長 二戸管内の自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）は平成10年に62・9人、実数は44人をピークに減少傾向にある。平成27年で、二戸管内は39・5人の実数22人。実数の内訳は、二戸市8人、軽米町4人、九戸村3人、一戸町7人。二戸市

市民への生きる支援を進める計画策定を

平成30年度までに策定する

公共交通体系の構築

問 地域住民との話し合いは行ってきたか。

答 市長 路線の新設やダイヤ等の見直しなど、機会を捉えて地域住民や関係団体との話し合いを行っている。今年度からは公共交通の現状や課題などを伝えるとともに、出前講座にもメニューを追加した。さまざまな機会を通じて地域の要望・ニーズ等の把握に努める。

食品ロスの削減

問 食品ロス削減に向けた啓発は。

答 市長 広報等での啓発活動に加えて、岩手県と連携して、「もったいない・いわて」食べきり運動を展開し、市内の飲食店・宿泊施設等に食べ残しの削減や30・10運動に取り組む、ポスター・啓発用品等を配布し、関係団体と協力しながら進める。また、学校給食センターから出る

給食の残飯等については、二戸たばこ堆肥生産組合に搬入し堆肥化することで廃棄物から有価物への変換を図っている。岩手県とも協力しながら、食品ロスの削減、ひいてはごみの減量化に市民と一体になった取り組みを進めていきたい。

※「30・10運動」：宴会開始後30分間は自分の席で出された料理を味わい、終了10分前に再び席に戻り出された料理を食べきるようにし、食品ロス削減につなげる運動。

また、市民への生きる支援を進める計画策定が必要と考えるが今後の方針は。

の場合、70代、80代の自殺者が多く、原因や動機は健康問題28・4%、家庭問題6・2%、勤務等の問題6・2%となっている。昨年の自殺対策基本法の一部改正により、地方公共団体が地域自殺対策計画を策定することが義務付けられた。国の大綱や県の計画を勘案し、平成30年までに自殺対策計画を策定することになっている。

また、市民への生きる支援を進める計画策定が必要と考えるが今後の方針は。

また、市民への生きる支援を進める計画策定が必要と考えるが今後の方針は。



田口 一男 議員

問 高速道八戸線の通行禁止による迂回路線としての県道二戸五日市線の迅速な整備と隣県の要所となる国道昇格は。

高速道八戸線の迂回路線としての県道の国道昇格は

国道昇格は困難 県道は早急な整備を強く要望する

除雪の安全対策は

問 除雪等による破損被害と融雪剤の影響は。

いる。柿ノ木平地区の急カーブの解消など重点項目として、市も県に要望し続けている。県も重要ルートと認識し検討の状況である。

除雪等による破損被害と融雪剤の影響は。

また、市民への生きる支援を進める計画策定が必要と考えるが今後の方針は。

また、市民への生きる支援を進める計画策定が必要と考えるが今後の方針は。

答

市長 県道二戸五日

市線は高速道八戸線の交通事故、自然災害等の迂回対策路線となっている。さらに国道4号線を起点に国道282号線の重要な連絡路線である。しかし、樋口地区から八幡平までの区間は狭く、急カーブ、歩道未整備の区間が相当残って

平成5年の沖繩を最後に国道昇格がされていないので昇格は難しい状況である。



二戸市と八幡平市を結ぶ
県道二戸五日市線

答

市長 除雪はにのへ

環境NPO等に委託。堆雪帯の未設置路線が多く車両の交差を容易にするガードレール付近まで除雪している。山間部は春除雪の時期も積雪量が多く、交通安全施設等の破損の可能性もある。浄法寺地区のガードレール破損状況は、幅寄

山間部の雪害による破損箇所には十分な対応となっていない。散布された融雪剤は多量の雪に希釈されるので自然環境には影響がない。

支払交付金廃止に伴う市内の米農家の減収額は28年度実績で約3千万円。農業経営を総体的に補てんする制度として農業経営収入保険制度が創設された。農業災害補償制度は当然加入制から任意制に。農業経営者が経営状況等に合わせ選択し加入できるように指導していく。

問

稲作の日照対策と減反交付金廃止に伴う影響は。



畠中 泰子 議員

狭くて古い石切所小学校体育館の改築は市全体の学校整備計画を検討していく

問

昭和44年整備の石切所小学校体育館は古く、使用上不便で狭いため

答

教育長 石小体育館

は576平方メートルで児童1人あたり面積が市内の学校で一番狭く、通路としても使用し、児童や先生方が不便を感じている。他にも老朽化の学校施設があるため、市全体の学校整備計画を検討する。部分的改修はこれまで同様リフレッシュ事業の中で対応していく。



石切所小学校体育館

答

市長 条約制定交渉

不参加を問題視する自治体もあるが、核兵器のない世界の実現を目指す点では政府の態度と共通である。

問

条約の歴史的意義を認識した平和行政を。

答

市長 合併後、新た

に平和首長会議へ加盟。8月に広島・長崎原爆無縁死没者名簿の揭示、原爆DVD上映等を拡大。今後はホームページでの情報発信を充実させる等、非核

問

年金が減っているのに介護保険料は当初の倍以上でもはや限界点。滞納者248人、うち3割負担のペナルティを受けている方は3人。滞納により必要なサービス利用を諦めている人は次期計画では引き下げを。

次期介護事業計画

答

市長 給付額増加に伴う保険料の増額で

親元就農への支援を

問 国の新規就農者支援事業の対象とならない親元就農の若者も支援を。

答

市長 現在は青年等就農計画制度をはじめ、各種研修制度やサポートが創設されている。青年新規就農者の早期就農定着と経営の安定化を目指し、国、県、農業関係者と連携し支援に努める。

平成 29 年
第 1 回臨時会

平成 29 年 8 月 18 日に、第 1 回臨時会が招集されました。
市長提出の補正予算 1 件について審議がなされ、全員賛成で可決された
ほか、議員の任期中、2 年に 1 度の各委員会の所属替えが行われました。

平成 29 年度二戸市一般会計補正予算（第 2 号）

◇補正額	1 億 9,920 万円
------	--------------

平成 29 年 7 月 22 日から 23 日にかけて発生した大雨災害の復旧に要する予算措置です。

各常任委員会、議会運営委員会委員の選任

各委員会の新しいメンバーは下記のとおりとなりました。

総務常任委員会

委員長	内 沢 真 申
副委員長	米 田 誠
委 員	菅 原 恒 雄
	田 村 隆 博
	新 畑 鉄 男
	田 口 一

文教福祉常任委員会

委員長	三 浦 利 章
副委員長	鈴 木 忠 幸
委 員	駒 木 昇
	清 水 正 敏
	田 口 一 男
	小笠原 清 晃

産業建設常任委員会

委員長	田 代 博 之
副委員長	畠 中 泰 子
委 員	國 分 敏 彦
	田 中 勝 二
	岩 崎 敬 郎
	及 川 正 信

議会運営委員会

委員長	田 中 勝 二	委 員	田 口 一 男
副委員長	田 村 隆 博		小笠原 清 晃
委 員	内 沢 真 申		及 川 正 信

心機一転頑張ります！
よろしくお願いいたします。

議会を傍聴してみませんか

本会議は、当日の受付で傍聴できます。
傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所 3 階までお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴が可能です。介助が必要な場合は、事務局職員へお声がけください。

また、市役所および浄土寺総合支所の 1 階ホールでは、テレビで議会で継を見ることができます。

※ 9 月定例会の傍聴者は 15 人（延べ）でした。



カシオペア連邦議会議員協議会
登録実現に向け 御所野の挑戦



7 月 28 日、カシオペア連邦議会議員協議会の研修会と総会が開催されました。

研修会では、一戸町の御所野縄文博物館の高田和徳館長が、北海道・北東北の縄文遺跡群の持つ価値やユネスコ世界文化遺産登録に向けた取り組みについて講演。今年度の推薦は見送られる結果となりましたが、今後に向けた認識を共有する機会となりました。

二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会
県境産廃の今を視察

8 月 21 日、二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会の研修会と総会が開催されました。

研修会では、岩手県と青森県の県境産廃不法投棄現場を視察。両県の原状回復に対する取り組みについて説明を受け、参加者は改めて、不法投棄事件がもたらした影響の大きさを実感していました。

議員と意見交換しませんか？

～「市民と議会との意見交換会・議会報告会」参加団体を募集します～

二戸市議会では、より「開かれた議会」「市民に身近な議会」となるよう議会報告会の形を検討してきましたが、この度、市民の皆様（各種団体）と意見交換を行うため、「市民と議会との意見交換会・議会報告会」として開催することといたしました。

日頃感じている市政への要望や提案などを、この機会にぜひお聞かせください。

対象

市内に在住し活動する団体・グループ
(町内会、PTA、文化関係、商工農林関係団体など)

内容

- 【開催時間】1回につき2時間程度
- 【開催場所】原則、お申し込み団体で確保願います。
- 【参加人数】団体・グループから10人程度以上
- 【テーマ】お申し込み団体が希望するテーマで開催
※意見交換なしで、議会報告会のための開催もできます。
- 【参加議員】テーマに関連する委員会に所属する議員
※総務・文教福祉・産業建設の3つの常任委員会があります。



議会の出前をはじめます！
どこへでもうかがいます！

申込

申込書に必要事項をご記入のうえ、二戸市議会事務局にご提出ください。
※申込書は議会事務局にご用意しています。二戸市議会ホームページからもダウンロードできます。

その他

- ・テーマや時期によってはお受けできない場合や協議をさせていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- ・幅広く意見交換を行うため、同一の団体からの申し込みは1年につき1回とさせていただきます。
- ・意見交換の結果は、議会だより等で公表させていただきます。掲載にあたっては個人が特定されることのないよう留意します。

12月定例会を開催します

次回の定例会は、12月5日（火）に開会の予定です。

詳しい日程は二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

委員		副会長		部長		委員	
三浦		駒木		島中		内沢	
利章		昇		泰子		真申	

前回号より、二戸の元気な子どもたちが表紙を飾っています。皆様お気づきになりましたでしょうか？
市内の幼稚園・こども園・保育所に通う二戸の未来を担う子どもたちを取り上げています。
今後は、表紙以外にも、たくさんの方々の声に耳を傾け、市民の方々に参加していただき、議会と市民が作る議会だよりを目指してまいります。
次号より、市民の方々の声を届けるコーナーがスタートする予定です。皆様のご協力をよろしくお願いします。
(島中 泰子 記)

編集後記

二戸市議会のホームページ（市ホームページよりアクセス）
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/gikai@city.ninohe.iwate.jp>